

令和元年度 政策対話における意見等への対応

農政部農業政策課

実施日：9/11（水）

場 所：農業試験場（須坂市）

【農政部：スマート農業の導入加速化について】

<趣旨>

技術発展の著しいAI等先端技術を活用し、省力化や生産性の向上を図る「スマート農業」の導入を加速化させる施策を県が進める際に、どのような支援や手法を行うことが有効であるかなどについて

政策対話当日の意見		意見等への対応（予算案公表時）
スマート農業体験等の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ほ場のモニタリングシステムは導入しやすく便利であり、管理をデータで行えるため、GAPの取得等に関しても経験や勘に頼らずにできる等のメリットがある 一方、通信コストや停電時の対応などが課題。 ・水田センサーは、遠隔地の管理には効果的だが、自分で水を見ないと気が済まない高齢者等がおり、そういった方々への浸透は難しい。また、時間的な制約のある兼業農家向きのツールではないか。 ・アシストスーツは、単一の作業でなく一連の作業の流れに対応できる工夫が必要。 ・水田畦畔除草機は夏場の農作業安全の観点などから重要だと思うが、コストや取り回しなどが課題。 	<p>○「スマート農業」の導入を加速化させるため、当日はアシストスーツや水田畦畔除草機などを体験していただきました。また、対話ではスマート農業技術が導入可能な分野はどのようなものか、加速化に必要なことは何かという視点から意見交換しました。</p> <p>御意見を踏まえ、「スマート農業機械の開発・導入支援」及び「スマート農業技術の普及」の観点から以下の施策に取り組みたいと考えています。</p> <p>【スマート農業機械の開発について】</p> <p>○スマート農業機械の開発については、より導入しやすい仕様・価格となるようメーカー等に要望を伝えてまいります。</p> <p>また、実用化のニーズが高い水田畦畔除草機等については、来年度も引き続き実用化に向けた開発を支援してまいります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【スマート農業機械社会実装加速化支援 6,000千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業と連携し現場ニーズの高い農業機械の実用化に向けた開発支援 </div>
スマート農業技術が導入可能な分野	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域の樹園地における防除作業は、農業従事者が高齢化して危険なため、無人化又は遠隔操作ができるものを開発してほしい。 ・温暖化等により栽培環境が変化しており、新たな病害虫の発生が懸念されるため、予察できるシステムが開発されるとよいのではないか。 ・水田センサーのほか、カメラ等の搭載により生育管理ができればよいのではないか。 ・水田における生育状況の把握はドローンの活用により可能だが、雑草の発見にも活用できればよい。 	<p>【スマート農業機械の導入支援について】</p> <p>○スマート農業機械のお試し導入については、引き続き実施し効果を実感していただくとともに、本年度特に評価の高かった施設園芸のほ場モニタリングシステムについては、野菜、花きのほか果樹（ぶどう）についてもお試し導入を行います。また、事業者の要望を踏まえながら、国庫補助事業を活用した実装支援を進めてまいります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【スマート農業機械お試し導入 3,859千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業と連携し農業経営体へ先端機器の「お試し導入」を実施 </div>

政策対話当日の意見		意見等への対応（予算案公表時）
スマート農業技術が導入可能な分野	<ul style="list-style-type: none"> ・現在スマート農業の実証試験に取り組んでいるが、現在使用しているスマート農業機械は、「これなくてはならない」という必要性の高いものは多くないが、従来の3Kと呼ばれる農業のイメージを払拭し、若い人たちが農業に参入してもらえるようになればと思って取り組んでいる。 	<p>【スマート農業技術の普及について】 ○今年度より開始したスマート農業技術の大規模実証プロジェクトに引き続き参画して効果を検証し、その活動を県内農業に横展開できるようマニュアルの作成等に取り組んでまいります。</p> <p>また、多くの農業者にスマート農業を知っていただく機会を増やすため、新たに地域における研修会や分かりやすいWebコンテンツの作成を行うとともに、県農業大学校におけるスマート農業教育の充実を図ります。</p>
スマート農業導入加速化において必要なことは？	<ul style="list-style-type: none"> ・導入のメリットをうまく説明できるようにすることが必要。 ・スマート農業機械の導入に関してはコストが大きな課題。レンタルの制度などがあってもよいのではないか。 ・スマート農業に興味がある方はよいが、そうでない人に対してどのように対応していくかが重要ではないか。 ・スマート農業にアクセスするスマートフォンやタブレット等のデバイスが高齢者には取りつきにくい。IoT時代でテレビもインターネットに接続できる時代なので、高齢者がアクセスしやすいデバイスの選択が重要。 ・センサーなどは様々な企業が開発しているが、規格の統一が必要ではないか。 ・現在のスマート農業機械の価格は生産コストから決定されていると思うが、この考え方では、生産物の販売価格を自分で決定できない農業の収益性をみれば導入は困難。メーカーも農家の収益性を踏まえた価格帯での販売をしてもらいたい。 ・農業者がスマート農業にアプローチするのは難しい部分があるので、行政でも取組を率先して進めていかないと一歩が踏み出せないのではないか。また、普及する側（県農業改良普及センターやJAの指導員）の理解促進と情報共有といったことに連携して取り組む必要がある。 ・オピニオンリーダー等の人材育成が必要。 ・導入の成功例・失敗例の情報共有と蓄積が必要。 	<p>【スマート農業の理解促進 3,791千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業に関するWebコンテンツを作成するとともに、ミニ研修会を開催 ・農業大学校で外部講師によるスマート農業の講義・実習や、タブレット等を活用した授業を実施